

サイバーセキュリティタスクフォース 第6回

サイバーセキュリティ

リスクマネジメントの観点から

2017年6月29日



富士ゼロックス株式会社/情報セキュリティ大学院大学
藤本正代

今起きている変化

未来投資戦略2017の戦略分野

- 健康・医療・介護(保険医療データプラットフォームなど)
- 移動サービスの高度化(トラックの隊列走行など)
- スマートサプライチェーン(複数企業にまたがるデータ連携など)
- インフラの生産性と都市の競争力

(3次元データのオープン化、建設・海運分野の全プロセスでICT活用など)

参考：

http://www.kantei.go.jp/ip/singi/keizaisai/sei/pdf/miraitousi2017_t.pdf



データの共有
データ連携
オープン化と利活用

• • •

IoTセキュリティガイドラインに見る多様な参加者

表 1 対象読者の例

分野	サービス	供給者			利用者 一般利用者
		経営者	機器メーカー	システム・サービス提供者 ／企業利用者 ⁵	
自動車	コネクテッドカーサービス	右記の機器メーカー、システム・サービス提供者の経営者	・自動車メーカー	・自動車メーカー ・ネットワーク事業者	・自動車の所有者、運転手
家電	HEMS	右記の機器メーカー、システム・サービス提供者の経営者	・HEMS 機器メーカー ・通信機器メーカー	・HEMS 事業者 ・住宅メーカー ・ネットワーク事業者	・居住者
医療	在宅医療サービス	右記の機器メーカー、システム・サービス提供者の経営者	・医療機器メーカー ・通信機器メーカー	・在宅医療サービス事業者 ・病院（システム管理部門） ・ネットワーク事業者	・患者及びその家族 ・医師 ・看護師 ・ケアマネージャ
工場	制御システム	右記の機器メーカー、システム、サービスの提供者／企業利用者の経営者	・制御機器メーカー ・制御用センサーメーカー	・工場のシステム構築者 ・工場の管理者 ・ネットワーク事業者	⁶

出典「IoT セキュリティガイドライン ver 1.0」平成 28 年 7 月
IoT 推進コンソーシアム・総務省・経済産業省

http://www.soumu.go.jp/main_content/000428393.pdf

リスクマネジメントの観点から検討が必要なこと

リスクマネジメントとは・・・リスクについて、組織を指揮統制するための調整された活動。

これからは、IoT、AI、ビッグデータ等々の新しい技術を活用し、組織や人をネットワークで結び、イノベーションを起こすために、実証的な取組が数多く行われる時代。

リスクの社会的受容形成が大切



イノベーションを止めないためにも、以下のような課題についての議論が必要

- 誰がリスクマネジメントの主体なのか
 - 責任関係の明確化
 - 開発やサービス提供の参加者はリスクマネジメントについて説明できるようにする必要がある？
- 利用者とのリスクコミュニケーションはどうあるべきか？
 - 技術をわかりやすく説明する方法は？
 - 利用者が参加するイノベーションのあり方は考えられないか？
- リスクマネジメントのコストをどう負担するか？